

2019-20 年度 RI 会長:マーク・ダニエル・マローニー / ガバナー:鈴木秀憲 / 会長:小椋 剛 / 幹事:野口一信
クラブ会報委員会 委員長:小池俊輔 / 例会日:木曜日 午後 12:30 開会 / 会場:ベルヴィアイトピア

第2588回 10月第2例会 10月17日(木)

[通常例会]

- 点鐘 小椋 剛 会長
- 国歌斉唱、ロータリーソング斉唱
- 四つのテスト唱和
- 会長の時間 小椋 剛 会長
- 幹事報告 野口一信 幹事
- 委員会報告
- 卓話 (気象予報士・防災士 平井信行 氏)
- 出席奨励・スマイル委員会
- 点鐘 小椋 剛 会長

点 鐘

会 長 の 時 間



小椋会長

皆さんこんにちは。先週の例会は本年度メイン事業でもあります防災に関する公開講演会を 12 日土曜日に予定しておりましたが、台風 19 号の影響により休会となりました。

公開講演会に関しましては、中止ではなく延期とさ

せて頂きます。詳しい内容につきましては委員会の方から報告があると思いますので、引き続き協力の方、宜しくお願い致します。

今回の台風に関しましては、連日ニュース等で報道されているように各地で甚大な被害が発生しております。改めて防災に対する意識が高まったと思います。温暖化の影響で海水温度が上昇し、今度のような台風が毎年のように上陸することを覚悟しなければならないと思います。本日の卓話講師は、気象予報士・防災士の平井様です。今回の台風を予測したかのような卓話となりました。平井様よろしくお願い致します。

さて、今月 3 日の例会で野口幹事より報告がありましたように、本年度 2570 地区、地区大会を鈴木秀憲ガバナーのもと行田ロータリークラブがホストクラブとして福島会員を実行委員長として運営にあたることになりました。来年 4 月 18, 19 日の大会に向けて実行委員会の組織構成など、会員皆様の協力が必要です。ご意見はいろいろあると思いますが、ご理解の上積極的な参加協力を宜しくお願いいたします。

来週の例会は台北城中ロータリークラブの皆様が

16名来訪されます。今回の台風に関しましても、いち早くお見舞いのメールを頂いております。大勢で歓迎したいと思いますので、多くの皆様の参加お願い致します。

以上、会長の時間挨拶とさせていただきます。

ありがとうございました。

表彰



米山功労者表彰 山本正幸会員

米山功労者＝第4回目表彰

ご寄付に心から感謝申し上げます。

幹事報告



野口幹事

- ・防災公開講演会延期・・・2月7日開催予定
- ・来週25日、台北城中RC来訪されますので多くの方の参加をお願い致します。
(ガーデンパレス 18:00 集合)
- ・受付テーブルに日本ロータリー100周年バッジがありますのでお持ち帰りください。

委員会報告



姉妹クラブ委員会 大谷委員長

10月25日(金曜日)台北城中RC来訪されますのでガーデンパレスに18時集合でよろしくお願いします。多くの皆様の参加をお願いします。



地域防災委員会 古沢委員長

10月12日に開催予定されておりました山村武彦氏の公開講演会ですが、台風19号の影響により延期となりまして、2月7日(金曜日)を改めて予定させて頂きましたので、その節はご協力宜しくお願い致します。



行田アンサンブル協会 PR 細川さん(矢沢会長代理)
行田ロータリークラブの皆様のおかげで、いろいろな

ところで演奏させて頂いたことから、行田市にアンサンブル協会の活動が認められ、審査を受けてオペラの助成金が決まりました。来年3月1日にオペラ公演します。チケットが800枚予定しておりますので、その節はよろしくお願い致します。

ロータリーの友読みどころ紹介



金子会員

P. 3・・・ポリオは1988年125か国で流行しましたが、現在99.9%以上発症を減少させました。10月24日は世界ポリオデーです。

P. 8・・・RI会長は年度最初の海外訪問地に日本を選びました。日本の各地を訪れ、日本のロータリアンがロータリーを通じ、地元や海外の地域社会にとっても大きなインパクトをもたらしていると実感した。

P. 28・・・地域社会の経済発展＝シャッターのしまった商店街をコミュニティースペースとして様々な年代をターゲットとしたイベント開催。世代を超えた交流の機会を増やしています。

P. 85・・・地域創世のヒントは江戸時代から
(上記ページ表記はすべて横書きページでの表示)

卓 話



講師：気象予報士・防災士 平井信行 様

テーマ：「埼玉県の暮らしと天気」

埼玉県は川の面積率が日本一高い県です。つまり川と共に生活してきた県といえます。海なし県ですが、川による恩恵や災害を受けてきた地域です。

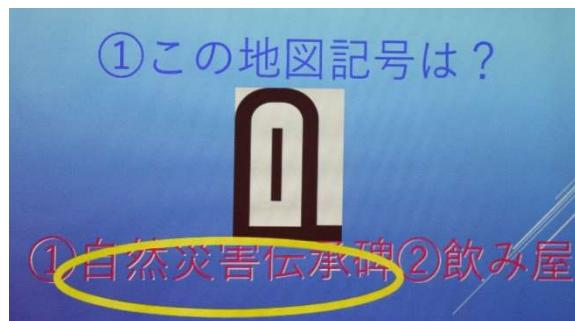
最近あまり水害という話を聞きませんでしたが、思い起こせば、1947年9月15日、カスリーン台風によって大きな被害にあった地域であります。その時から70年近く経ち、また先日の台風19号によって同じことが起こってしまいました。このように災害というのは繰り返し繰り返しおこります。災害を考えると100年、500年、1000年という単位で考えてインフラの整備と防災対策をしなければならないと言えます。

今回の台風19号では、埼玉県の各地で小さな川の水が大きな川に流れ込めない内水氾濫がおきました。

行田市は荒川と利根川の間に挟まれて昔から水害を受けてきた地形です。利根川が氾濫した場合は市のほとんど全域が水につかってしまいます。荒川の場合は市の南部が比較的影響を受けますが北部は影響を受けにくいと言え、どちらの川が氾濫するかによって災害の起こり方が変わるので気を配りながら防災対策をしなければなりません。

最近大型の強い台風（アメリカでハリケーン＝風速33m以上）が増えていると感じますが、近年40年の統計ではさほど変化はなく、昨年の関西空港孤立の台風が25年ぶりの非常に大きな台風で、昨年から大きな台風が来出した頃に入っているのかもしれない。地球の温暖化によって将来台風は強くなるであろうと考えられています。

では、防災対策は・・・



2019年3月制定（自然災害伝承碑のマーク）

① 上の写真にあるマークは過去の災害を風化させずに、災害対策に生かしていこうと制定され、地図に記

載されています。伝承碑がある場所ではいつ災害が起きるかわかりません。教訓を生かし災害対策を講じましょう。

② 記録的短時間大雨情報・・・数年に一度レベルで大雨が降った場合に発表される情報＝とても危険なレベルですという情報です。気象庁は浸水被害を防ぐために1km四方ごとの浸水害情報を5段階で発表し避難レベルを分けていることから、こう言った情報活用が防災には重要といえます。

③ 土砂災害警戒情報・・・行田市は比較的崖が少ない地域ですが、もし崖のそばにいて、土砂災害警戒情報が発令された場合は崖斜面反対側の2階に避難する必要があります。

④ 警報にあって特別警報にないものとして洪水に関するものは無いので、川のそばにいるときは「大雨特別警報」が洪水の恐れがある警報と考えなければなりません。(洪水特別警報は無いので気を付けましょう) 特別警報は最終通告でありその前に避難しなければ逃げ遅れてしまいます。

⑤ 河川の水位の呼び方で警戒と危険、どちらが危険度が高いかという「危険」の方です。河川の氾濫危険水位と情報が出たときは特に危険です。この前に避難することを考えましょう

まとめ・・・浸水、洪水、土砂災害に関する情報は気象庁のホームページを見ればわかる時代となっています。自分で身を守るための情報をしっかりと得るように努めることが大切です。

気象庁のホームページで、危険度レベル4で健常者は避難。老人などはレベル3で避難です。

以上の内容のお話を平井様より頂戴しました。

出席状況報告

T	正会員数	64名
P	本日の出席者	36名
本日の出席率		56%

ニコニコ報告

○小椋会長

・平井様、本日は卓話よろしくお願ひ致します。

○野口幹事

・平井さん、今日は卓話宜しくお願ひします。

○小沢副会長

・西武ライオンズ残念でした。

○園部会員

・以前、例会でもお話させて頂きました知育玩具が「こどものみらい」と名称とともに特許庁に登録完了いたしました。

※本日のニコニコは10,000円でした。

ありがとうございました。



司会 坂田会員